



本村幼稚園 7月の園だより

令和4年6月30日 港区立本村幼稚園長 山村 登洋

小学校へつながる「かかわる力」

園長 山村 登洋



梅雨らしい梅雨がないままに梅雨明けです。平年より22日も早い梅雨明けとなりました。6月中の梅雨明けとは、びっくりです。正直、少し困った天候ですね。連日の暑さに体調管理、熱中症防止など、健康・安全対策を第一に保育をしております。

さて、6月21日には、ほんむら夏まつりが開催されました。保護者の皆様、地域の皆様のお力をいただきながら、無事に終了することができました。誠にありがとうございました。3年ぶりに外部のお客さまも受入れ、久しぶりに活気のある夏まつりとなりました。子供たちが考案した「ころころさめたおしゲーム」をはじめ、保護者様の「おもちゃすくい」、地域の皆様の「バルーンアート」など多くのブース(お店)が並びました。私も短時間ではありましたが、マジックコーナーを務めさせていただきました。子どもたちは一つ一つのブースを楽しみながら、お祭りを満喫しました。また、はと組の皆さんは自分たちで考案した「ころころさめたおしゲーム」の担当も積極的に行いました。多くのお客さまが長蛇の列で並んでいましたが、要領よく全員のお客さまを楽しませました。この成功体験を次に活かし、自己肯定感の向上に繋げていきたいです。



自己肯定感向上とともに幼稚園教育から小学校教育に移行(入学)するまでに「大切にしたい三つの力」というものがあります。ご存じですか。それは、「生活する力」「発見・考え・表現する力」「かかわる力」の三つです。もちろん、どれも大切ですが、特に大切にしたい「かかわる力」についてお話させていただきます。「かかわる力」の具体的な内容として

・あいさつをする

・人とかかわる

・きまりや約束を守る

などがあります。これはどれも小学校入学のために必要であることは言うまでもありませんが、これからの社会生活、大人になったときに最も重要なことではないでしょうか。

あいさつができない人物はそれだけでマイナスイメージがついてしまいます。きまり、約束が守ることができなければ、人との信頼関係は築けません。友だちのよさを見付け、認めていくことも人とのかかわりには大切です。人間は一人だけでは生きていけません。何かしら人とのかかわりをもって生活していきます。

本園では、この「かかわる力」を確実に身に付けさせていきたいと思っております。